

氏名	市川 裕久
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 4255 号
学位授与の日付	平成20年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Quantitative Analysis of Propionibacterial DNA in Bronchoalveolar Lavage Cells from Patients with Sarcoidosis (サルコイドーシス患者気管支肺胞洗浄液中のプロピオニバクテリア属DNAの定量解析)
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 槇野 博史 准教授 土井原 博義

学位論文内容の要旨

近年プロピオニバクテリア属はサ症の原因物質として有力視されている。サ症患者 42 人と非サ症患者 30 人の気管支肺胞洗浄液細胞より DNA を抽出し、総 DNA500ng 中の *P. acnes*, *P. granulosum* の 16S rRNA を、real-time PCR 法により定量解析し、結果は臨床データと比較検討した。サ症患者の *P. acnes* DNA の平均値は 59.9 コピーで、非サ症症例 (20.7 コピー) に比し、有意に高値であった ($p < 0.001$)。しかし、サ症患者の *P. granulosum* DNA の平均値は 1.2 コピーと、非サ症症例 (1.0 コピー) と有意差を認めなかった ($p = 0.52$)。 *P. acnes* ゲノム値とサ症症例の血清 ACE 値 ($r = 0.361, p < 0.05$)、BAL 細胞中マクロファージ比率 ($r = 0.360, p < 0.05$) との間には正の相関関係が認められた。 *P. acnes* はサ症の病態形成に関与している可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、サルコイドーシス症患者と非サルコイドーシス症患者の気管支肺胞洗浄液細胞より DNA を抽出し、総 DNA 中の *P. acnes*, *P. granulosum* の 16S rRNA を、real-time PCR 法により定量解析し、臨床データと比較検討したものである。本疾患患者の *P. acnes* DNA の平均値は非症例に比し有意に高値であり、かつ血清 ACE 値、BAL 細胞中のマクロファージ比率との間には正の相関関係があることを認めた。従って本論文は *P. acnes* はサルコイドーシス症の病態形成に関与している可能性を示唆した価値ある業績である。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。